

---

Sadlove

海咲

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Sadlove

### 【NZコード】

N3749D

### 【作者名】

海咲

### 【あらすじ】

ある一人の少年が歌舞伎町のホストクラブに入店する。三ヶ月でN.O.1になり、地元福岡に帰り独立し三店舗まで規模拡大する。しかし、

## 第一話

18才の春、海咲は新宿歌舞伎町のホストクラブ club 恋に入店した。その当時付き合っていた彼女ミカは海咲より先に六本木のキャバクラでアルバイトをしていた。これから2人は四年間、お互いをこれでもかというくらいに傷つけ合いながら生きていく。

## 第一話

入店した海咲はどんどんと仕事、そして歌舞伎町の魔力にとりつかれていく。

入店してすぐに香織という大学生の女の子に知り合つ。

海咲はその女の子を風俗店で働かせて売上をあけようと考えた。知り合つてすぐにその女の子の家に行つた。

その子の家は吉祥寺だった。

幼稚園から高校までエスカレーター式のお嬢様学校を出て福岡から東京に上京してきたらしい。

父親は一級建築士らしくいかにも世間知らずっぽい女の子だ。

その子は以外と簡単に風俗店で働くことを了承してくれた。

それから、その女の子は風俗店で働いた後に海咲の働くclub恋に行く。

という生活を2ヶ月くらい続けることになる。

その頃でも、海咲はミカのことを本当に好きでいた。

仕事とはいえ、海咲とミカはいつも海咲の女関係で喧嘩をしていた。ミカとの関係がぎくしゃくする一方で海咲の売上はどんどん伸び、入店三ヶ月でN.O.・1になる。

しかし、ある日突然、香織と音信不通になる。

理由は、香織の様子がおかしいと思った母親が福岡から東京の香織に会いに来てたからだ。

その上、香織が風俗店で働いてることもホストクラブに通いつめてることも知り、香織を福岡に連れて帰つたのだ。

その後、弁護士から連絡が入りこれ以上香織に連絡するようなことをすれば風俗店への斡旋で刑事告発するといつ。さすがに海咲はお手上げだ。

しかし、N.O.・1の海咲はどうなかして売上を維持しなければならないと思ふ。そして、海咲の考えたことは彼女であるミカを風

俗店で働かせて売上を維持しようというものだつた。その時は、ミ力に対する愛情より売上の方が大切だつた。普通の世界で生きる人には到底りかいできないことた。そして、すぐにミ力に風俗店で働くしてくれと頼むため六本木で待ち合わせをする。

海咲とミカは六本木のアマゾンドという喫茶店で話し始めた。先に口を開いたのは海咲の方だった。

（お前と付き合つてるのが客にばれて、その客が切れた。今月売上げがやばいから、客がつながるまで風俗行つてくれないか？）ミカ（（そう言つてま）海咲（とりあえず2ヶ月だけ時間くれ）ミカ（少し考えさせて）その後、夕食を食べに行つたが些細なことで喧嘩になりお互い家に帰つた。次の日ミカから連絡があり、2ヶ月だけという条件で働いてくることになつた。早速、海咲は知り合いのスカウトマンに電話をして、店を紹介してもらつことになつた。面接もつましく週末から働くことになつた。夜スカウトマンから（女の子泣いてたぞ）（笑）大丈夫か？ちゃんとフォローしどけよ。）と電話があつた。海咲は笑いながら（余裕つすよ）と軽く流した。このことが、海咲とミカにとつて最後まで埋められない溝をつくることにならうとは想像もつかなかつた。その夜ミカから電話があつた。（海咲は私が他の男に体触られて嫌じやないの？）海咲（しうがないやる、2ヶ月やから我慢してや）海咲はこの一言だけ言つて電話をきつた。これから先、四年間に渡つてミカは海咲のなかで客、彼女、客、彼女と気持ちの葛藤が続くことになる。そして、海咲はいつしかこのホスト業界で成り上がり自分の店を持ちたいという夢に向かって突進を始める。電話をきつたあといつものように携帯で150件ほど、営業メールをして寝た。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3749d/>

---

Sadlove

2010年12月15日03時01分発行